

# 市民協働事業 相互評価シート

## 1 市民協働事業の概要

事業名称	令和5年度 青葉みらいづくり大学校		
事業の実施者	団体等	NPO法人まちラボ	
	行政	青葉区地域振興課地域力推進担当	
事業の目的	自治会町内会の課題解決に向けた事業プラン作り		
事業の内容	講座（全5回）を通して、自治会町内会活動をはじめとした地域の活動の課題を解決するためのアイデアを出し合い、地域で実践できる「マイプラン」を考える。		
役割及び責任 分担等	事業項目	NPO法人まちラボの役割	青葉区の役割
	1 企画及び関係 機関連絡調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画</li> <li>講師等との連絡調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画補助</li> <li>関係機関との連絡調整</li> </ul>
	2 受講者募集及 び受講者への連絡	<ul style="list-style-type: none"> <li>募集案内の作成</li> <li>受講者への連絡</li> <li>受講者の出席管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>募集案内の作成補助</li> <li>区連会への依頼</li> <li>受講者からの問合せ関係などのとりまとめ</li> </ul>
	3 講座当日運営 及び備品の準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営管理 (講座・事例紹介支援)</li> <li>備品準備</li> <li>講座内容記録</li> <li>受講生フォローアップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会場確保</li> <li>資料印刷</li> <li>運営補助</li> <li>受講生フォローアップ補助</li> </ul>
	4 報告書作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>報告書の作成、印刷</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>報告書の作成補助</li> </ul>
	5 広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種広報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種広報</li> </ul>
	6 相談会運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営補助</li> </ul>
	7 事業振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施</li> </ul>
実施期間	令和5年10月～令和6年3月		

記入日	令和6年4月15日
記入者	[団体等] ・団体等名：NPO法人まちラボ ・記入責任者 氏名：代表 大越 雅美 連絡先：ookoshi@machi-lab.net
	[行政] ・部署名：青葉区地域振興課 ・記入責任者 氏名：課長 松本 美穂 連絡先：ao-chiikiriyoku@city.yokohama.jp

# 1 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行い、その後、「2 事業評価相互検証シート」で総合的な評価検証をおこないます。

## ◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

### ①事業計画段階

		団体等	行政
1	自分たちが達成すべき大きな目的やミッションについてよく話し合うことができましたか。	A	A
2	お互いの立場や組織の違いを話し合ってよく理解することができましたか。	A	A
3	ニーズを把握して共有するとともに、この事業の目標と実施方法を話し合って決めることができましたか。	A	A
4	実現のためにそれぞれが何をできるかを考え、話し合って役割分担を決めることができましたか。	A	B
5	会計のルール等、お互いの組織内部の取り決めについて、説明し合ってよく理解することができましたか。	B	A
6	事業を始めることや計画中であることを、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	A	A

### ②事業実施段階

		団体等	行政
1	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	A	A
2	お互いの強みや得意分野を、どう生かし合えるかを考え、提案しながら取り組むことができましたか。	A	B
3	相手に任せきりにせず、お互いが役割を自覚して積極的に取り組むことができましたか。	A	B
4	事業の進捗に応じて、目標、ニーズ、対象、実施方法などをふりかえり、修正しながら取り組むことができましたか。	A	A
5	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	B	B
6	事業終了後の見通しについて、話しながら取り組むことができましたか。	A	A
7	事業の進捗状況を、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	A	A

### ③ふりかえり段階

		団体等	行政
1	協働することで、単独でおこなうのに比べてどのような効果が得られたか、話し合って共有できたか。	A	A
2	受益者が満足を得られたかどうかについて、話し合って確認することができたか。	A	A
3	これまでを振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができたか。	A	A
4	期待された事業成果を得られることができたか。	A	A

### 3 事業評価相互検証シート

事業実施プロセス相互チェックシートでおこなった結果をもとに、相互で本検証シートを作成します。

<b>事業の計画づくり</b> (協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
<b>【共有できたことや認識に違いがあったこと】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・昨年度の経験を踏まえ、計画だった準備、実施ができた。</li><li>・受講生それぞれが、地域の課題を把握したうえで、それを解決するための事業プランを構築することの難しさを共有したうえで取組を進めることができた。</li></ul>
<b>【今後改善が必要と思われること】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・参加者の募集方法については、より多くの方に参加いただけるよう、検討していく必要がある。</li><li>・打合せの段階で、業務の進め方、役割分担について十分に協議しておく必要がある。</li><li>・講座終了後に事業化を進めやすくなるよう、複数人での応募も検討する必要がある。</li><li>・講座各回の適切な実施時間については受講生の声をもとに改善を検討する。</li></ul>
<b>事業実施</b> (協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
<b>【共有できたことや認識に違いがあったこと】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・講座の進め方について、都度振り返りを行い参加者の進度に合わせて進めることができた。</li><li>・区内外の先行事例を紹介し、参加者が取り入れやすいアイデアを提供できた。</li><li>・各回の講座内容について、昨年度の反省を活かし、受講生の満足度を高めることができた。</li><li>・事業プランの発表については、連合会長、地域ケアプラザ職員、事例提供者等多くの方に報告できた。</li></ul>
<b>【今後改善が必要と思われること】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・講座の中の様々な状況に応じて、スタッフが臨機応変に対応できるよう、事前の十分な認識のすり合わせができるとうい。</li><li>・グループワーク等では、受講生全体の満足度がより高まるようなファシリテーション方法を考えていけるとよい。</li><li>・今後はより多くの関係者と協力することで、受講生がよりつながりづくりをしやすくなるような環境を整えていきたい。</li><li>・資料作成の進め方について、スケジュール管理、役割分担について事前に認識を合わせる必要がある。</li></ul>
<b>事業の成果</b> (協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)
<ul style="list-style-type: none"><li>・受講生一人一人に寄り添った取組を行い、実現可能な「マイプラン」の作成につなげることができた。</li><li>・昨年度から引き続いた内容の講座を連続実施したことで、昨年度の受講生の活動経過今年度受講生にも共有することができ、また講座内での交流も実現した。</li><li>・受講された方から高い評価をいただき、講座に対する満足度が高かったことが伺えた。</li><li>・発表後、受講生に共感、応援するメッセージが多数寄せられ、受講生のモチベーションも上がった。</li></ul>
<b>自由記入欄</b>